

【資料2】中継施設の供用開始時期を早めることによるメリット(トータルコストの削減)

■現方式のトータルコスト

トータルコストのみ		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R20	R21	R24	R25	R26	R30	R34
RDF (現方式)	エコ委託料	5.50億円	5.60億円	5.70億円	5.80億円	5.90億円	6.00億円	6.10億円	6.20億円	6.30億円	← 最も供用開始が遅くなるケース⑤でも、令和15年度の供用開始を予定しているため、これ以降は考慮しない。								
	可燃ごみ割合	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85									
	不燃ごみ割合	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15									
	可燃ごみ経費	4.68億円	4.76億円	4.85億円	4.93億円	5.02億円	5.10億円	5.19億円	5.27億円	5.36億円									
	RDF処理経費	0.71億円	0.71億円	0.71億円	0.71億円	0.71億円	0.71億円	0.71億円	0.71億円	0.71億円									
	トータルコスト	5.39億円	5.47億円	5.56億円	5.64億円	5.73億円	5.81億円	5.90億円	5.98億円	6.07億円									

■中継施設の新設（中継施設の建設工事費及びトータルコスト）

建設費 + トータルコスト		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R20	R21	R24	R25	R26	R30	R34	合計	
中継施設 (ケース④町単独)	実質建設工事費（苅田町）			15.29億円			供用開始													15.29億円	
	苅田町の交付金概算額			(交付金なし)																0円	
	年間維持管理費						2.00億円	0.87億円	0.87億円	0.87億円	0.87億円	0.95億円	0.95億円	1.25億円	1.25億円	1.25億円	1.25億円	2.38億円	1.25億円	1.25億円	28.85億円
	北九州市委託料						2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	53.47億円
	トータルコスト	-	5.47億円	5.56億円	5.64億円	5.73億円	4.23億円	3.10億円	3.10億円	3.10億円	3.10億円	3.18億円	3.18億円	3.48億円	3.48億円	3.48億円	3.48億円	3.48億円	3.48億円	3.48億円	104.72億円
	経過年数						1	2	3	4	5	6	10	11	14	15	16	20	24	-	
中継施設 (ケース⑤1市2町)	実質建設工事費（苅田町）							6.80億円			供用開始									6.80億円	
	苅田町の交付金概算額							3.40億円													3.40億円
	年間維持管理費										1.22億円	0.32億円	0.35億円	0.35億円	0.35億円	0.44億円	0.44億円	1.34億円	0.44億円	9.53億円	
	北九州市委託料										2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	2.23億円	44.56億円
	トータルコスト	-	5.47億円	5.56億円	5.64億円	5.73億円	5.81億円	5.90億円	5.98億円	6.07億円	3.44億円	2.55億円	2.57億円	2.57億円	2.57億円	2.67億円	2.67億円	3.56億円	2.67億円	100.25億円	
	経過年数										1	2	6	7	10	11	12	16	20	-	

■実質建設工事費（苅田町） + トータルコストでの比較（令和7年度から最も供用開始が遅いケース⑤の初年度までの9年間）

		R6	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
RDF（現方式）	トータルコスト	-	5.47億円	5.56億円	5.64億円	5.73億円	5.81億円	5.90億円	5.98億円	6.07億円			
中継施設（④町単独）	トータルコスト(a)	-	5.47億円	5.56億円	5.64億円	5.73億円	4.23億円	3.10億円	3.10億円	3.10億円	3.10億円		
中継施設（⑤1市2町）	トータルコスト(b)	-	5.47億円	5.56億円	5.64億円	5.73億円	5.81億円	5.90億円	5.98億円	6.07億円	3.44億円		
			“R11～14年度”の(b)－(a)				1.59億円	2.80億円	2.88億円	2.97億円			
							削減額： 10.24億円						
	実質建設工事費（苅田町）	トータルコスト計（最も供用開始が遅いケース⑤の初年度までの9年間）									合計	差額	
中継施設（④町単独）	15.29億円	39.02億円									54.31億円	※最安値	↓
中継施設（⑤1市2町）	6.80億円	49.60億円									56.40億円	+2.09億円	

中継施設の供用開始初年度に車両とコンテナを購入する（＝トータルコストに含める）こととしているので、ケース④・ケース⑤の初年度を含めた期間で比較する。

ケース④を選択することでのトータルコスト削減額は、ケース⑤で獲得できる交付金額(3.4億円)を上回り、上記9年間の総事業費比較においてもメリットがあるという想定結果となった。
現エコプラントの操業停止というリスク回避のためにも、早期の事業着手に大きなメリットがある。